

# 記入の仕方

※黒または青のボールペン等で記入し、消えるボールペンや鉛筆は使わないでください。

※国家公務員共済や地方公務員等共済加入者で、児童が3歳未満の方は、請求者の「健康保険証のコピー」か「年金加入証明書」を添付してください。

請求者は、父母等のうち、児童の生計を維持する程度の高い方(令和6年度(令和5年分)所得の高い方)を記入してください。

請求者の個人番号(マイナンバー)は、必ず記入してください。

児童の兄弟等は、3人以上の児童を養育している方で、その中に4年制大学生年代の子(平成14年4月2日～平成18年4月1日生まれ)がいる場合に記入してください。

また、児童の兄弟等の生計費を負担し監護している場合は、この請求書に添えて「監護相当・生計費の負担についての確認書」を同封してください(兄弟等が海外留学している場合、別途、申立書も必要)。

支給対象児童は、平成18年4月2日以降に生まれた子を記入してください。

また、請求者と支給対象児童が別居している場合は、この請求書に添えて「児童手当 別居監護申立書」も同封してください。

支給対象児童が5人以上いる方は、この申請書をコピーして、2枚目に5人目以降の児童について記入し、1枚目と一緒に提出してください。

支払希望金融機関は、請求者ご本人名義の普通預金口座を記入し、金融機関名・支店名・口座番号・名義人のカナ氏名が記載されている通帳ページやキャッシュカード面のコピーを同封してください。

児童手当 認定請求書										年月日			
さぬき市長 殿										令和 年 月 日			
児童手当の受給資格の審査のために、公募等(マイナンバー制度による情報連携を含む)により同意します。公募等で確認できない場合は、関係書類を提出します。										※認定・却下年月日		※支給開始年月	
請求者	①(ふりがな)	②性別	③生年月日	④職業	⑤配偶者	⑥住所	⑦個人番号	⑧所得状況	⑨所得状況	⑩個人番号	⑪所得状況	⑫所得状況	
	氏名(法人名等)	男・女	平成 年 月 日	ア.被用者 イ.公務員 ウ.被用者等でない者	有・無	〒		令和 年 分所得額 (請求者)	円		円		
	⑥住所(法人の主たる事務所の所在地)		電話 ( )	1月1日時点の住所(1～5月分は前年、6～12月分は本年)			⑨所得状況(配偶者)	円					
配偶者等	⑩(ふりがな)	⑫生年月日	⑬職業	⑭配偶者を扶養	⑮個人番号	⑯住所	⑰所得状況	⑱所得状況	⑲個人番号	⑳所得状況	㉑所得状況	㉒所得状況	
	氏名	昭和 年 月 日		有・無		〒	令和 年 分所得額 (配偶者)	円		円			
	⑯住所(⑮と異なる場合)												
⑯支給対象児童の兄弟等	氏名	続柄	生年月日	監護相当の有無	生計費負担の有無	同居・別居の別	海外留学の有無	令和 年 月					
			平成 年 月 日	有・無	有・無	同・別	令和 年 月						
			平成 年 月 日	有・無	有・無	同・別	令和 年 月						
⑰支給対象児童	氏名	続柄	生年月日	監護の有無	生計関係	同居・別居の別	海外留学をしている場合の出国年月	住所(別居の場合)	※児童との関係該当する場合に○印	※第3子以降の場合に○印	※3歳未満の場合に○印	※左記以外の場合に○印	※手当月額
			平成 令和 年 月 日	有・無	同一・維持	同・別	令和 年 月						円
			平成 令和 年 月 日	有・無	同一・維持	同・別	令和 年 月						円
⑲支払希望金融機関	名称	預金種別	支店コード	口座番号	口座名義								
	銀行 金庫 信組 農協 漁協	普通											

職業の「ア.被用者」は職場で厚生年金に加入している会社員等、「ウ.被用者等でない者」は自営業・無職・その他の方です。

所得の状況は、公簿等で確認するため記入しなくてもかまいません。

配偶者等の個人番号(マイナンバー)は、必ず記入してください。

【注意】  
⑯「監護相当の有無」及び「生計費負担の有無」がいずれも「有」の場合は、本請求書と併せて「監護相当・生計費の負担についての確認書」をご提出ください。  
(⑯児童の兄弟等と⑰児童の合計人数が3人以上の場合に限る。)

生計関係は、児童を監護養育しているのが父母の場合・・・同一 祖父母等、父母以外の方・・・維持に丸印してください。

【制度改正(拡充)分の申請期限】  
令和6年(2024年)10月31日(木)  
申請期限を過ぎても、令和7年(2025年)3月31日(月)(子育て支援課必着)までは申請を受け付けます。申請期限を過ぎた場合、拡充分の児童手当は遅れて支給されます。  
なお、令和7年4月以降に申請を受け付けた場合は、令和6年10月分からの拡充分は支給されず、申請した翌月分から拡充分が支給されます。

監護の有無  
通常の場合は「有」に丸印してください。監護とは、児童と同居・別居に関係なく、日常生活で必要な監督・保護して養育していることです。  
監護「無」は、施設入所などの特別の場合になります。

「児童手当 認定請求書」、「児童手当 別居監護申立書」、「監護相当・生計費の負担についての確認書」等の申請書・申立書・届出書は、さぬき市子育て支援課(寒川庁舎2階)・生活環境課(本庁1階)のほか、さぬき市ホームページからダウンロードして入手できます。

◎裏面の注意をよく読んでから記入してください。 ※印の欄は、記入しない  
【令和6年度 和暦(西暦)による子の生年月日】  
●支給対象児童＝0歳～高校生年代  
平成18年(2006年)4月2日以降に生まれた子  
●支給対象児童の兄弟等＝4年制大学生年代  
平成14年(2002年)4月2日～平成18年(2006年)4月1日生まれの子